



MS344-58001・MS344-58002

サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はアルファード、ヴェルファイア用TRDサイドスカートをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDサイドスカートの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

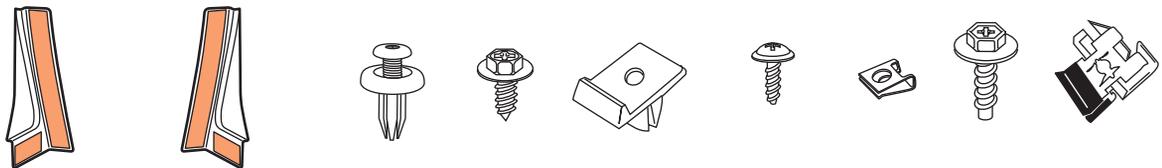
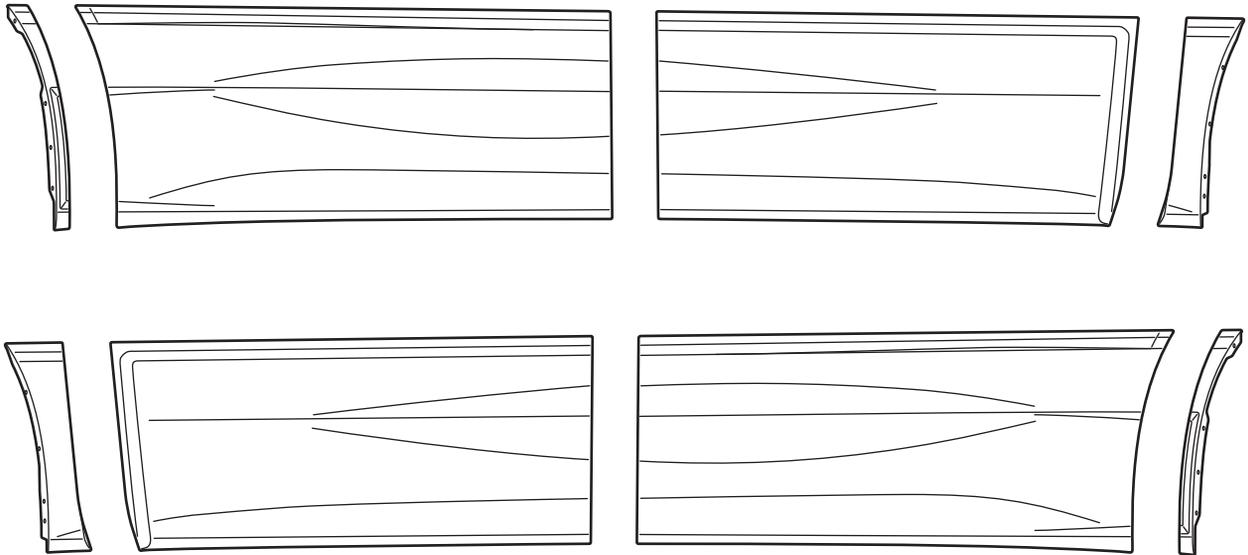
本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

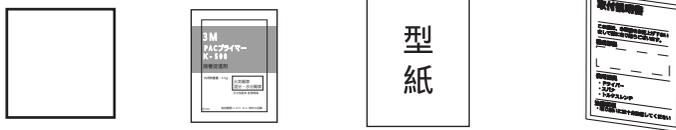
品番	塗装色	備考
MS344-58001-A0	ホワイト [°] -ルクリスタルシャイン (070)	アルファード 全適合 ヴェルファイア '15.01~
MS344-58001-A1	ラグジュアリーホワイト [°] -ルクリスタルシャインガラスフレック (086)	
MS344-58001-C0	ブラック (202)	
MS344-58001-C1	スパークリングブラック [°] -ルクリスタルシャイン (220)	
MS344-58001-C2	パニングブラックルクリスタルシャインガラスフレック (222)	
MS344-58002-NP	未塗装品(プライマー-処理品)	

構成部品一覧表

	品名	品番	個数	備考
	サイドスカート フェンダーパネルRH		1	
	サイドスカート フェンダーパネルLH		1	
	サイドスカート フロントドアRH		1	
	サイドスカート フロントドアLH		1	
	サイドスカート スライドドアRH		1	
	サイドスカート スライドドアLH		1	
	サイドスカート クォーターパネルRH		1	
	サイドスカート クォーターパネルLH		1	
	スペーサーA		2	標準ボディタイプ用
	スペーサーB		2	標準ボディタイプ用
	クリップ		4	
	タッピングスクリュー		2	6×16
	グロメット		2	6mm
	タッピングスクリュー		12	5×16
	Jナット(銀)		12	5mm
	タッピングスクリュー		2	6×20
	Jナット(大)		2	6mm
	プロテクションフィルム			
	PACプライマー		1	
	型紙		1	
②1	取付・取扱要領書(本書)		1	本書は大切に保管してください。



①



以下、MS344-58002-NP (未塗装品セット)のみに同梱



	品名	品番	個数	備考
②	モール		(各2)	黒/グレー L=2370mm

⚠ 注意

本品は、標準ボディとエアロボディのどちらにも取り付けることができます。
ボディ形状により取り付ける際の作業及び部品が異なります。

標準ボディ : 構成部品 ~ に、のスペーサー A、B を取り付けてください。
(取付・取扱要領書 P 7 参照)
車両スライドドアガーニッシュ後端部に加工作業があります。
(取付・取扱要領書 P 8 参照)

エアロボディ : 構成部品、の取り付け及び車両スライドドアガーニッシュ後端部の
加工作業はありません。

部品の取り付け前に必ず取付位置と形状をご確認ください。

取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業や、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、各タッピングスクリューが緩む恐れがあるので、数キロ走行後には必ず増締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット（MS344-58002-NP）は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥時、乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両へのサイドスカート取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

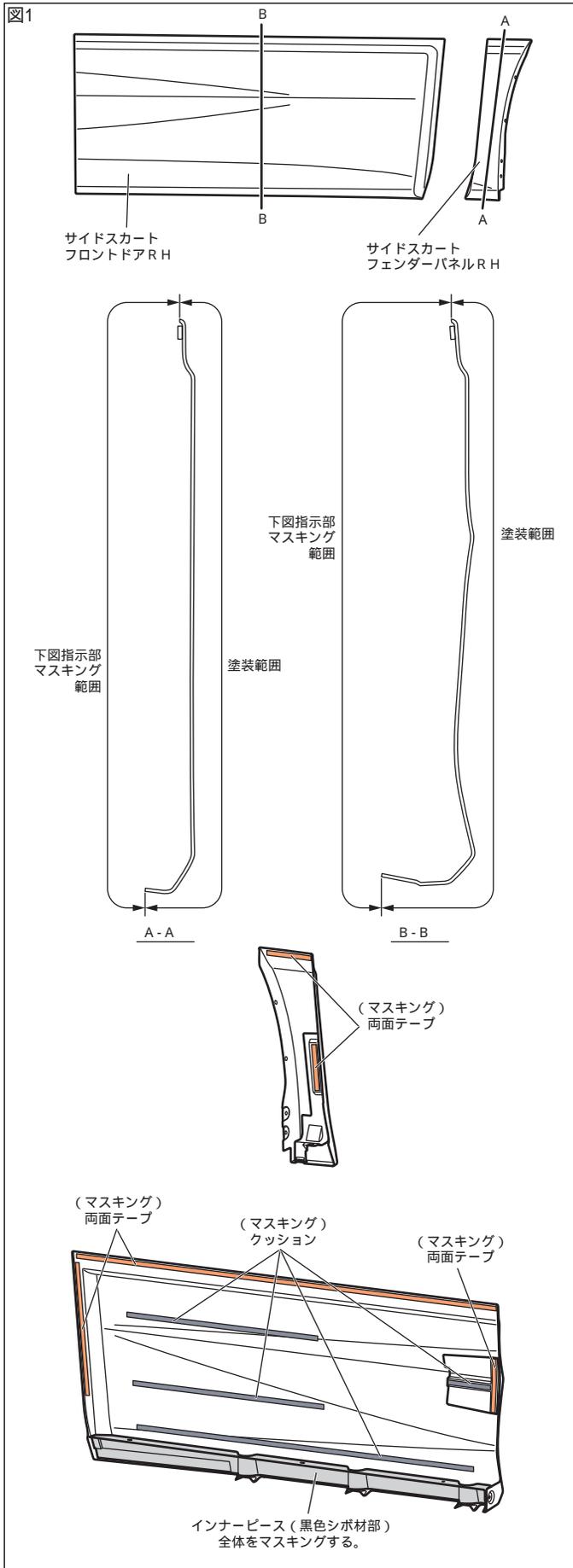
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS344-58002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



本取付・取扱要領書は、主にRHを示しており、LHも同様に行ってください。

サイドスカートの塗装

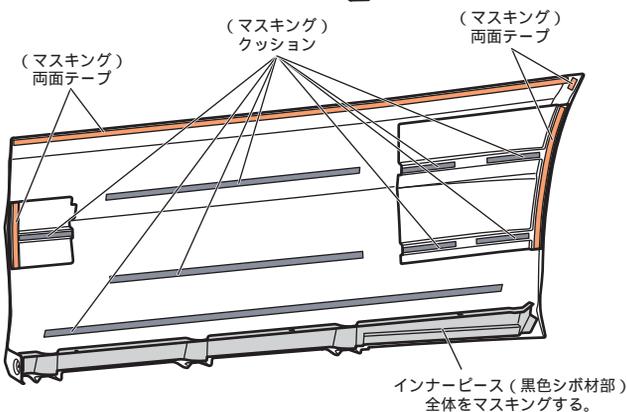
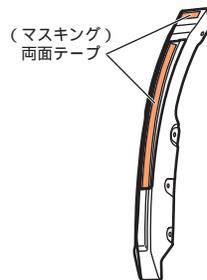
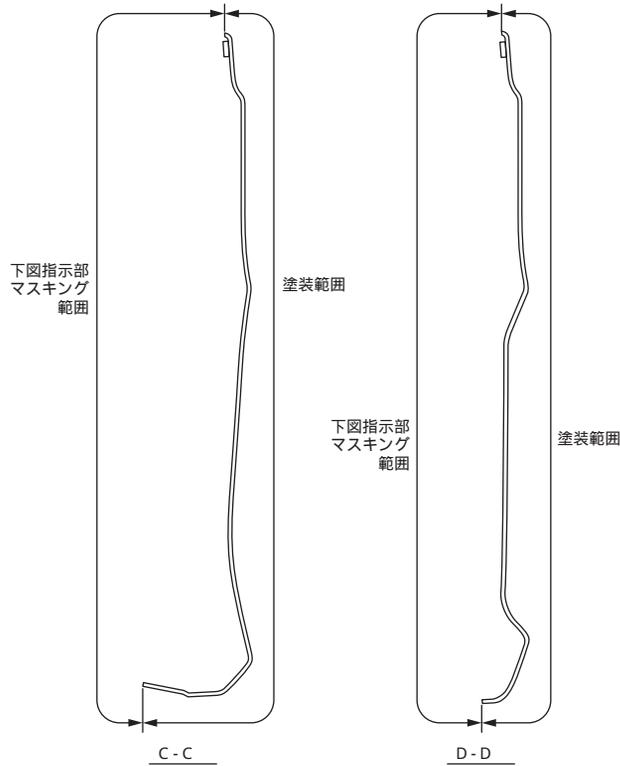
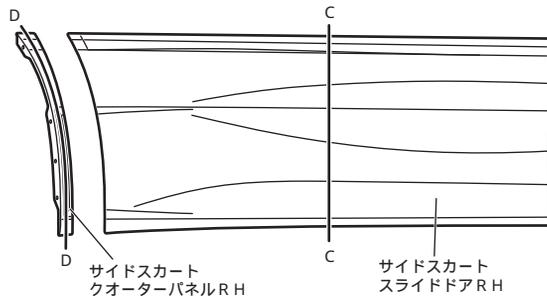
1. 図1のようにサイドスカートフェンダーパネルRH、サイドスカートフロントドアRHを塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

図2



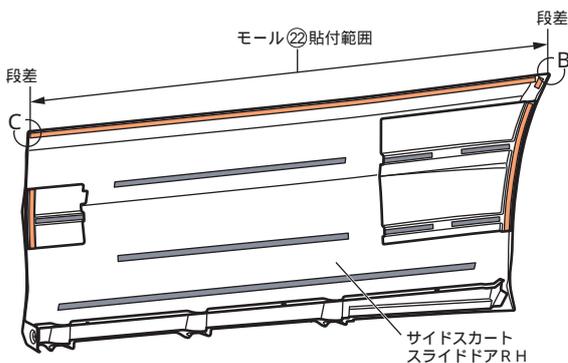
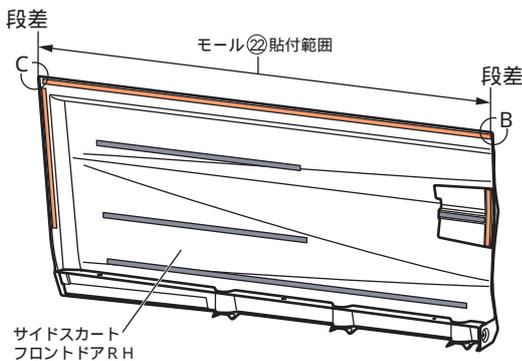
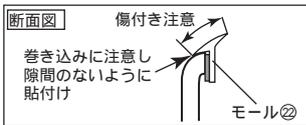
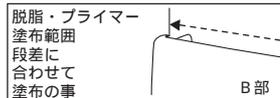
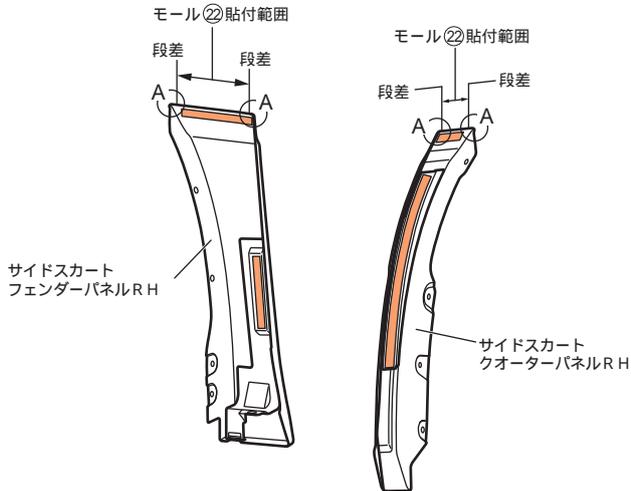
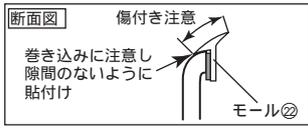
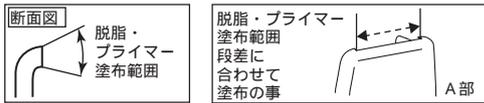
2. 図2のようにサイドスカートスライドドアRH、サイドスカートクォーターパネルRHを塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

図3



モールの貼付け

1. 図3のようにモール貼付部の汚れを取り除きIPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

2. 図3のようにサイドスカートフェンダーパネルRH、サイドスカートフロントドアRH、サイドスカートスライドドアRH、サイドスカートクォーターパネルRHにモール②の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付けで圧着する。

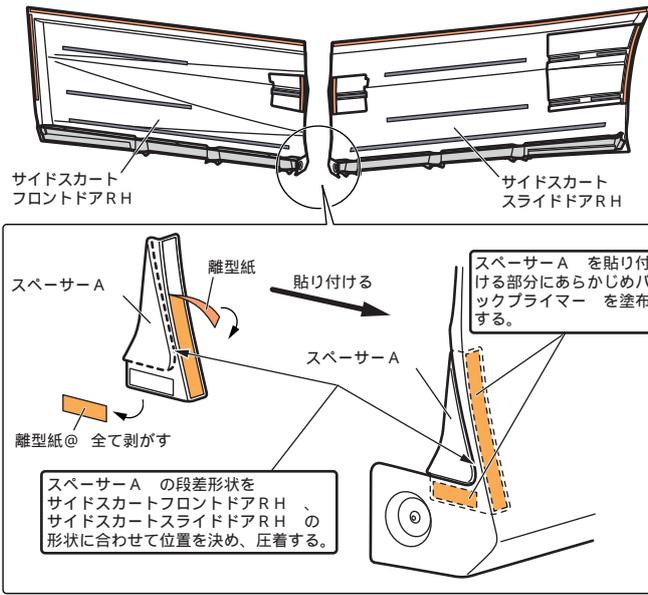
{ 49N (5kgf) 以上 }

⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

⚠注意：モール②は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

注意：標準ボディタイプのみ、スペーサーA・Bの取付け作業をしてください。

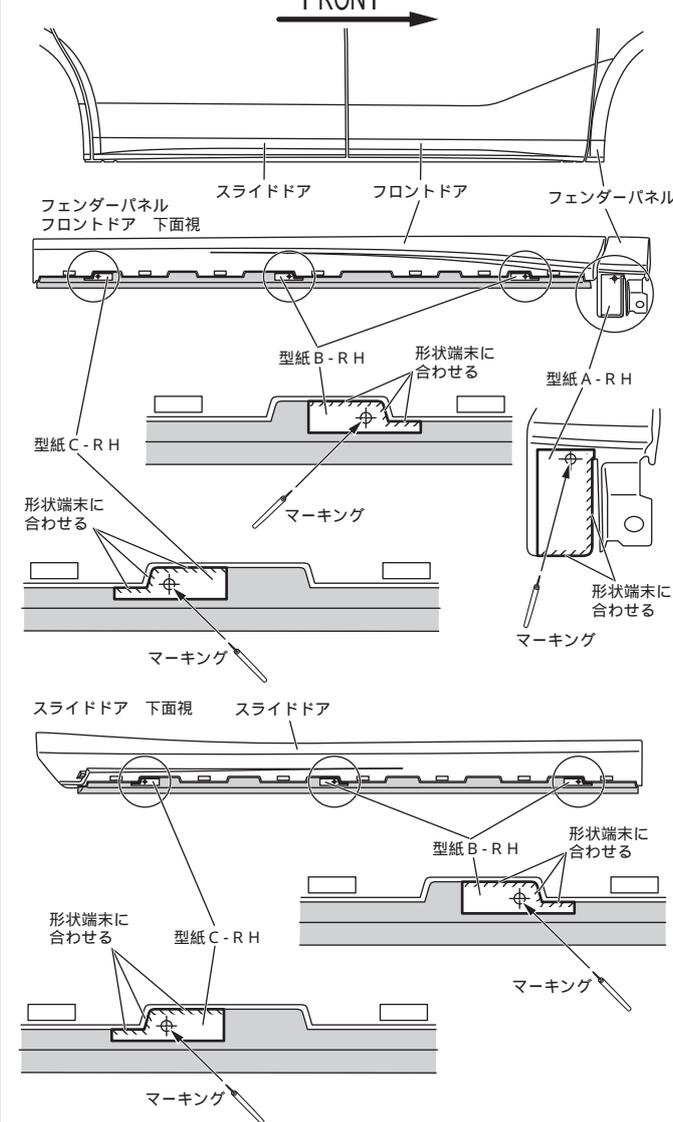
図4



スペーサーの取付け

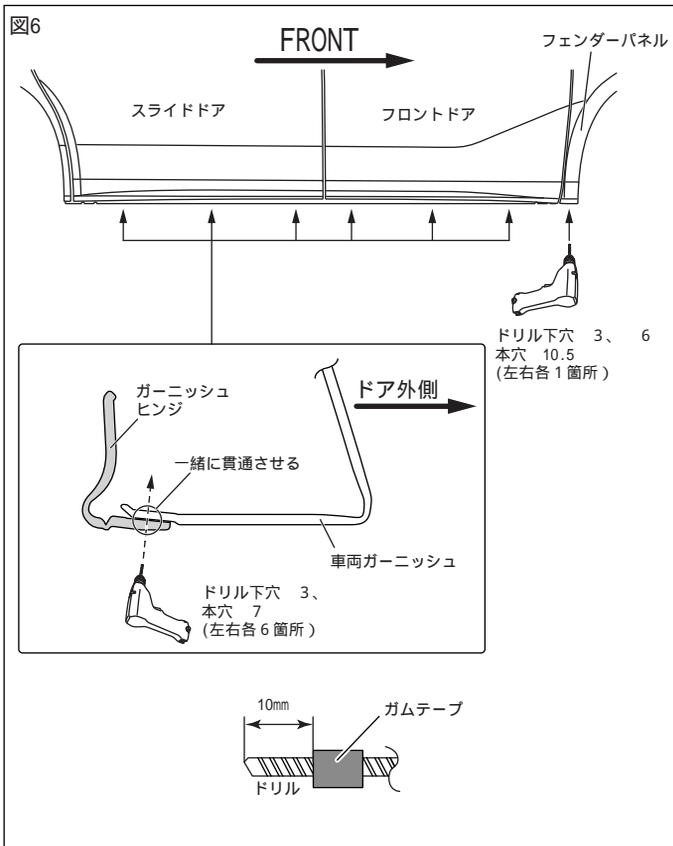
- 図4のようにスペーサーA、スペーサーBの両面テープの離型紙@を全て剥がし、それ以外の離型紙は矢印の方向に約30mm剥がし、反対側に折り返す。
- 図4のようにサイドスカートフロントドアRH 後端下側と、サイドスカートスライドドアRH 前端下側のスペーサーA、スペーサーB 貼り付ける部分にPACプライマーを塗布する。
- 図4のようにサイドスカートフロントドアRH 後端下側と、サイドスカートスライドドアRH 前端下側にスペーサーA、スペーサーB を貼り付けて圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }

図5



取付準備【ボディタイプ共通作業】

- 型紙 から型紙A、型紙B、型紙Cを切り抜く。
- 図5のように型紙A、型紙B、型紙Cの斜線部をそれぞれドア形状に合わせて貼り付け、マーキング位置をマーキングする。
(左右各7箇所)



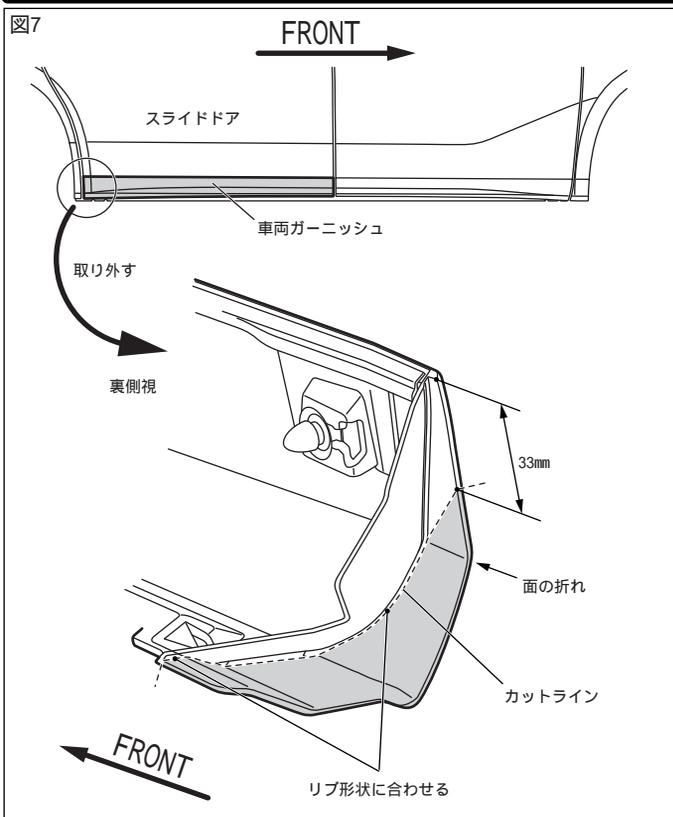
3. 図6のように 3のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3のドリルを使用してフロントドア下面、スライドドア下面のマーキング位置に下穴をあける。(左右各6箇所)
4. 図6のように 7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、7のドリルを使用してフロントドア下面、スライドドア下面に本穴をあけ、穴のバリを取除く。(左右各6箇所)
5. 図6のように 3、6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3 6の順でドリルを使用してフェンダーパネル下面のマーキング位置に下穴をあける。(左右各1箇所)
6. 図6のように 10.5のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、10.5のドリルを使用してフェンダーパネル下面に本穴をあけ、穴のバリを取除く。(左右各1箇所)

アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

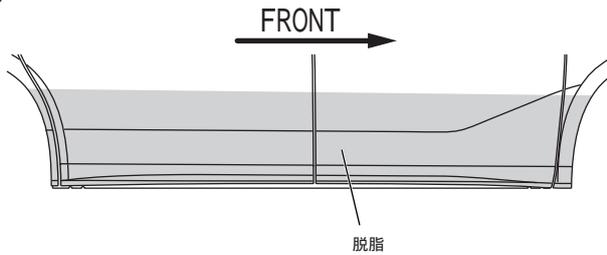
注意: バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

注意: 標準ボディタイプのみ、以下の7・8・9の作業をしてください。



7. 図7のように該当車両の修理書を参考にしてスライドドアから車両ガーニッシュを取り外す。
 8. 図7のように車両ガーニッシュの後端部分をカット加工し、バリを取除く。
- 注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。
9. 該当車両の修理書を参考にして車両ガーニッシュをスライドドアに復元する。

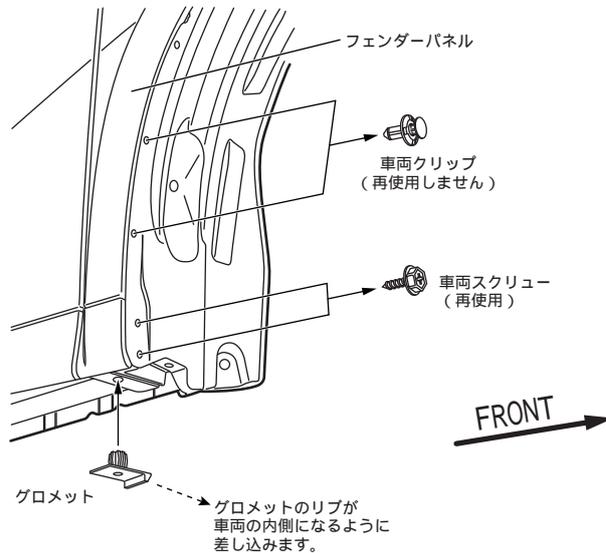
図8



10. 図8のようにフェンダーパネル、フロントドア、スライドドア、クォーターパネルの汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図9



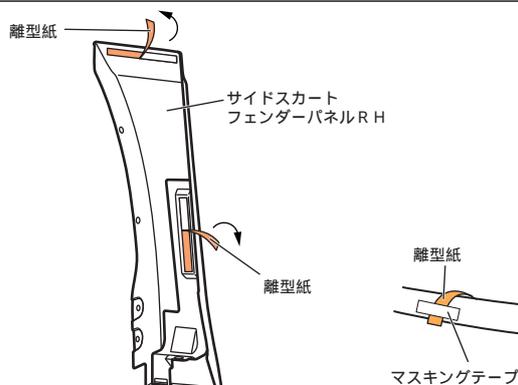
取付要領

1. 図9のようにフェンダーパネルのホイールハウス部の車両スクリュー、車両クリップを取り外す。(左右各4箇所)

⚠注意：取り外した車両スクリューは再使用するのので無くさないよう保管してください。

2. 図9のようにフェンダーパネル下面の図6で穴あけした10.5穴にグロメットを差し込む。(左右各1箇所)

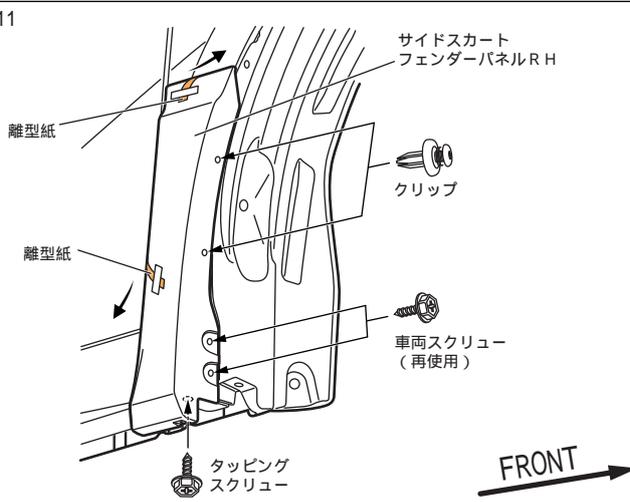
図10



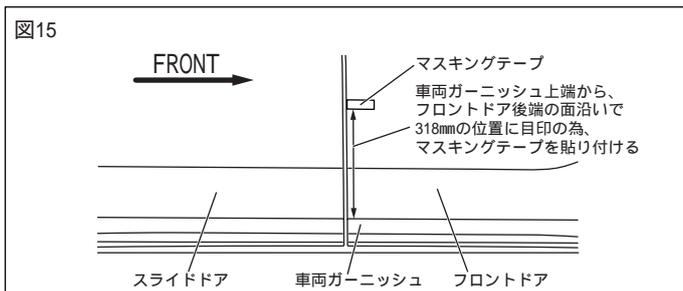
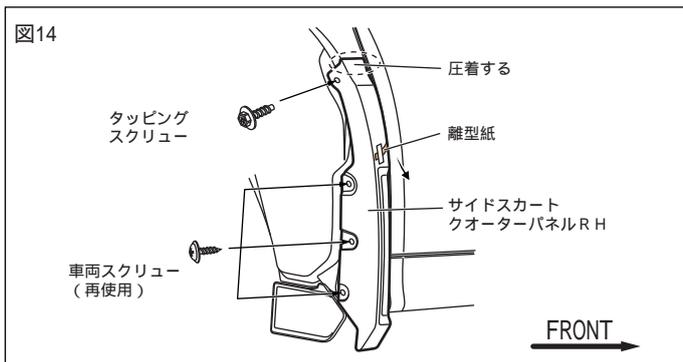
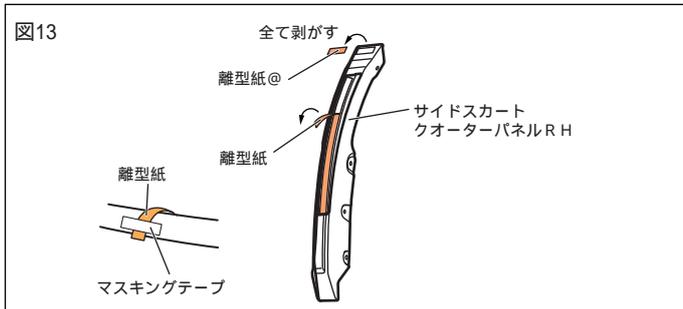
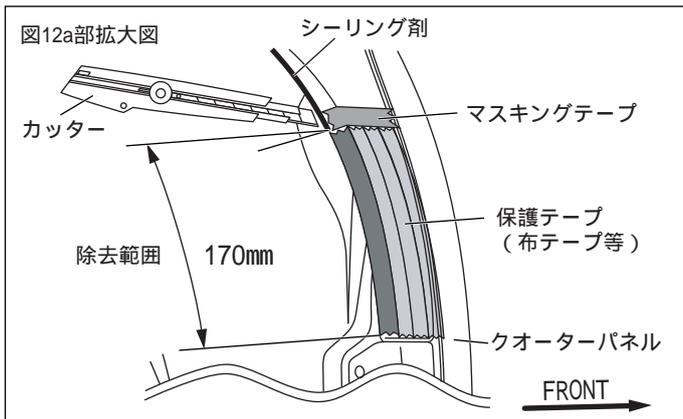
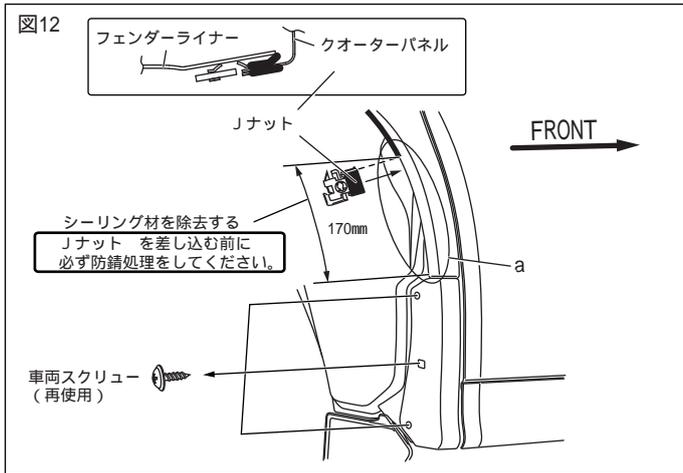
3. 図10のようにサイドスカートフェンダーパネルRHの両面テープの離形紙を矢印の方向に向かって約30mm剥がし、マスキングテープで表側に貼付ける。(左右各2箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図11



4. 図11のようにサイドスカートフェンダーパネルRHを取付け、ホイールハウス部を、クリップで固定し、車両スクリューと、下面をタッピングスクリューで仮締めし、サイドスカートフェンダーパネルRHの両面テープの離型紙を矢印方向に引き抜き圧着する。{49N(5kgf)以上} (左右各5箇所)
5. 仮締めしておいたタッピングスクリュー、車両スクリューを本締めする。(左右各3箇所)



6. 図12のようにクォーターパネルの車両スクリューを取り外す。 (左右各3箇所)

⚠注意：取り外した下面の車両スクリューは再使用するので無くさないよう保管してください。

7. 図12、図12a部拡大図のようにクォーターパネル指示部のシール剤を除去する。 (左右各1箇所)

⚠注意：シール剤を剥がす前に、剥がす範囲のパネル面に保護の為、布テープ等を貼り付けてください。

⚠注意：除去する際は怪我と、塗装面への傷つきに注意してください。万一、塗装面を傷付けてしまった場合は確実にタッチアップペイントを塗布し、乾燥してから次の作業に進んでください。

⚠注意：作業時に、脱脂した箇所に油脂分を付着させた際は、再度、脱脂を行ってください。

8. 図12のようにクォーターパネル指示部にJナットを取付ける。 (左右各1箇所)

⚠注意：Jナットの差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリューが取り付けなくなります。

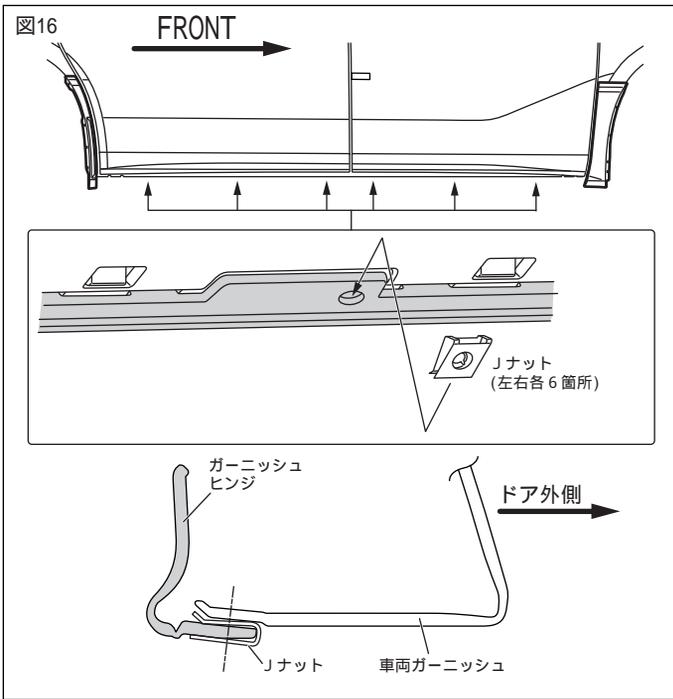
9. 図13のようにサイドスカートクォーターパネルRHの両面テープの離形紙@を全て剥がし、それ以外の離形紙は矢印の方向に向かって約30mm剥がし、マスキングテープで表側に貼付ける。 (左右各2箇所)

⚠注意：両面テープの離形紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

10. 図14のようにサイドスカートクォーターパネルRHを取付け、ホイールハウスを車両スクリューとタッピングスクリューで仮締めし、サイドスカートクォーターパネルRHの両面テープの離形紙を矢印方向に引き抜き圧着する。
{ 49 N (5 k g f) 以上 }
(左右各4箇所)

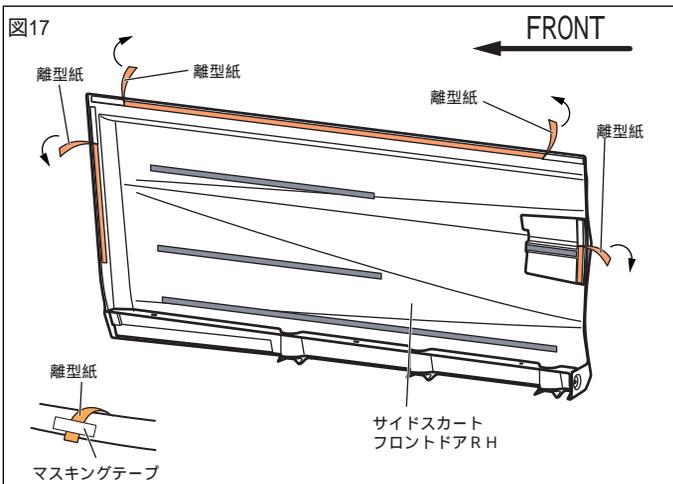
11. 仮締めしておいたタッピングスクリュー、車両スクリューを本締めする。
(左右各4箇所)

12. 図15のようにフロントドアの車両ガーニッシュ上端からフロントドア後端の面沿いで318mmの位置に、サイドスカートフロントドアRHを取り付ける高さ基準のマスキングテープを貼る。
(左右各1箇所)



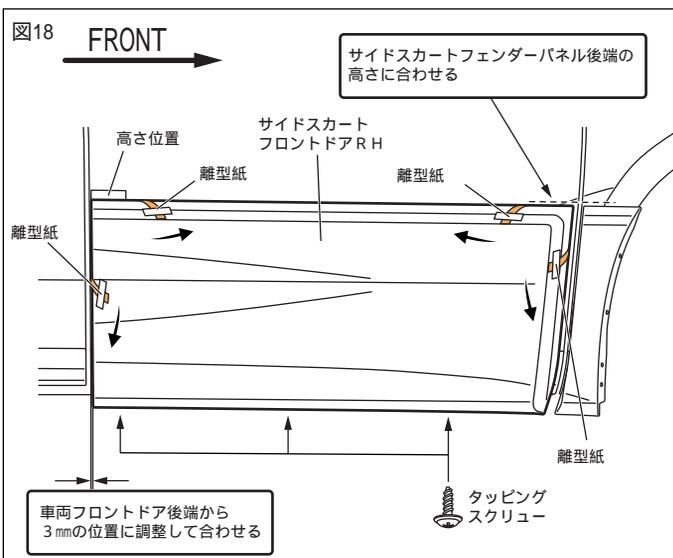
13. 図16のように図6で穴あけ加工した車両ガーニッシュの穴にJナットを取付ける。
(左右各6箇所)

△注意：Jナットの差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリーンが取り付けられません。



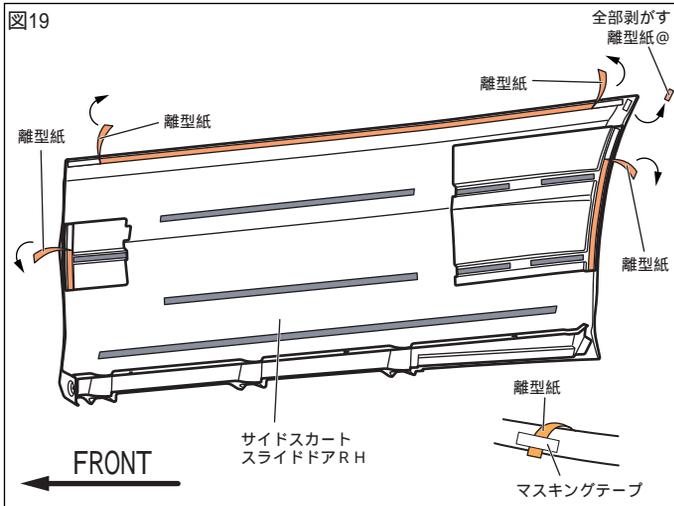
14. 図17のようにサイドスカートフロントドアRHの両面テープの離型紙を約30mm剥がし、マスキングテープで表側に貼付ける。
(左右各4箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



15. 図18のようにサイドスカートフロントドアRHの下面をタッピングスクリーンで仮締めする。
(左右各3箇所)
16. 図18のようにサイドスカートフェンダーパネルRHの高さ位置とマスキングした高さ位置に合わせ、フロントドア後端とサイドスカートフロントドアRH後端が3mmになる様に位置を調整する。
17. 図18のように両面テープの離型紙を左図番号順に剥がしながら貼付け、確実に圧着する。 {49N(5kgf)以上}
18. 仮締めしておいたタッピングスクリーンを本締めする。
(左右各3箇所)

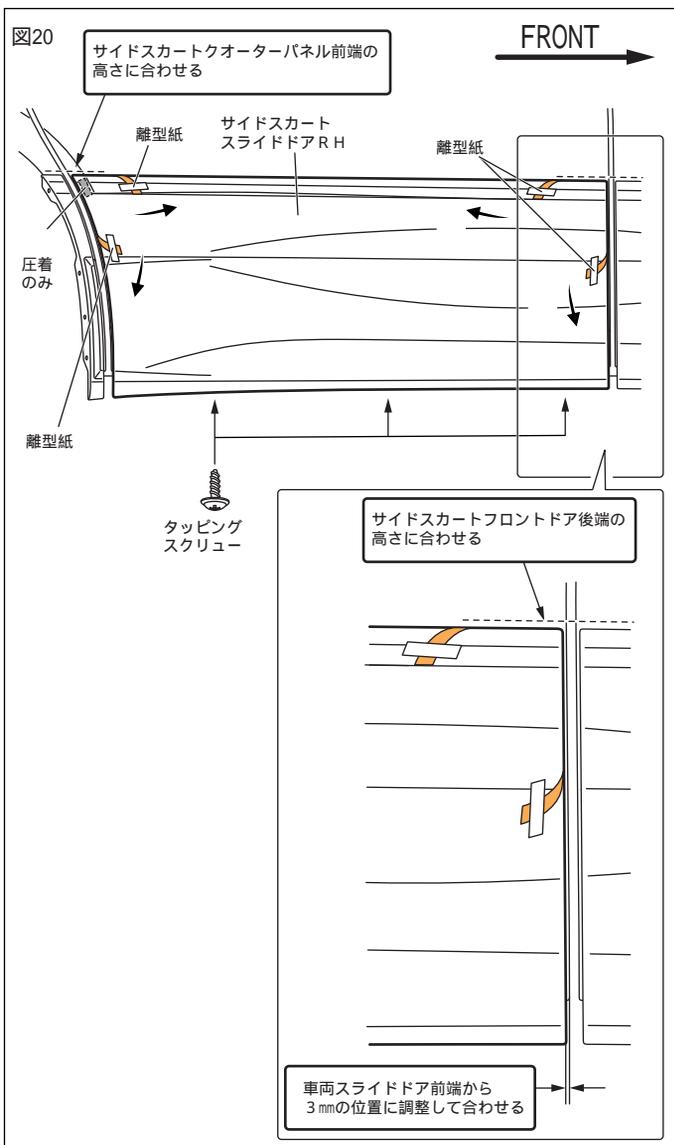
△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。



19. 図19のようにサイドスカートスライドドア RH の両面テープの離型紙@を全部剥がし、それ以外の離型紙を約30mm剥がし、マスキングテープで表側に貼付ける。
(左右各5箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

20. 図20のようにサイドスカートスライドドア RH の下面をタッピングスクリューで仮締めする。
(左右各3箇所)



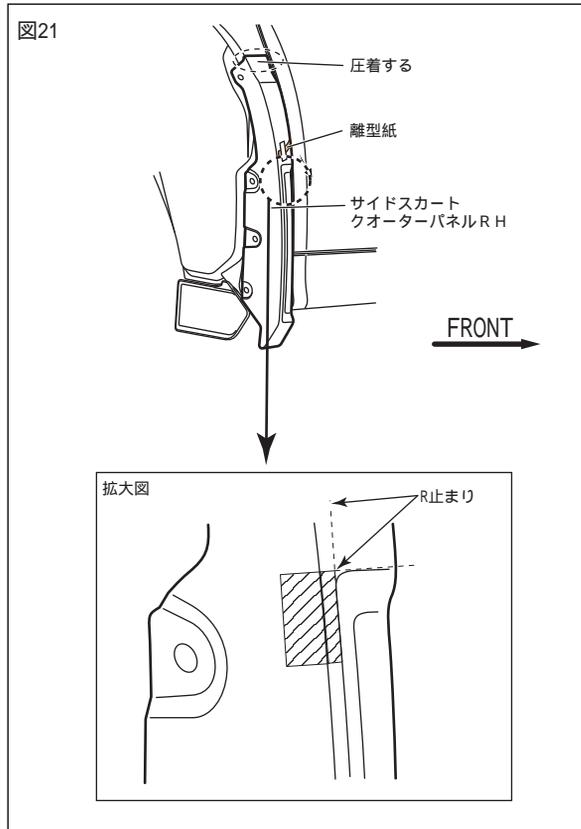
21. 図20のようにサイドスカートクォーターパネルRHの高さ位置とサイドスカートフロントドアRHの高さ位置に合わせ、フロントドア前端とサイドスカートスライドドアRH前端が3mmになる様に位置を調整する。

22. 図20のように両面テープの離型紙を左図番号順に剥がしながら貼付け、確実に圧着する。 {49N(5kgf)以上}

23. 仮締めしておいたタッピングスクリューを本締めする。
(左右各3箇所)

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

図21



プロテクションフィルム貼付

1. 図21のように プロテクションフィルムを貼る位置を確認する。
2. 図21のようにサイドスカートクォーターパネルRH の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

3. プロテクションフィルム貼り付ける。

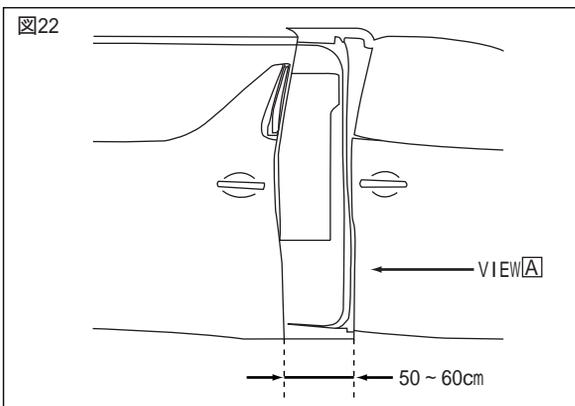
⚠警告：プロテクションフィルムは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：スライドドアハーネス傷つき防止のための作業なので、LH、RH共にプロテクションフィルムが貼ってあることを確認してください。



アドバイス：スライドドアハーネスの経路に車両個体差があり、スライドドアを全開した際にサイドスカートに接触する場合があります。スライドドアを全開にした際にハーネスとサイドスカートとの隙間が狭い（10mm未満の）場合は下記の要領を実施してください。

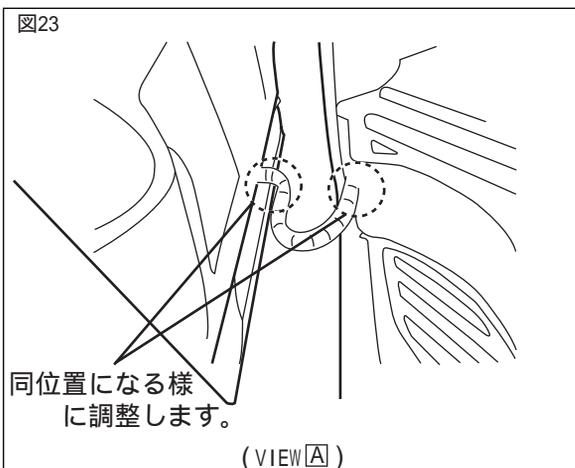
図22



スライドドアハーネスの調整要領

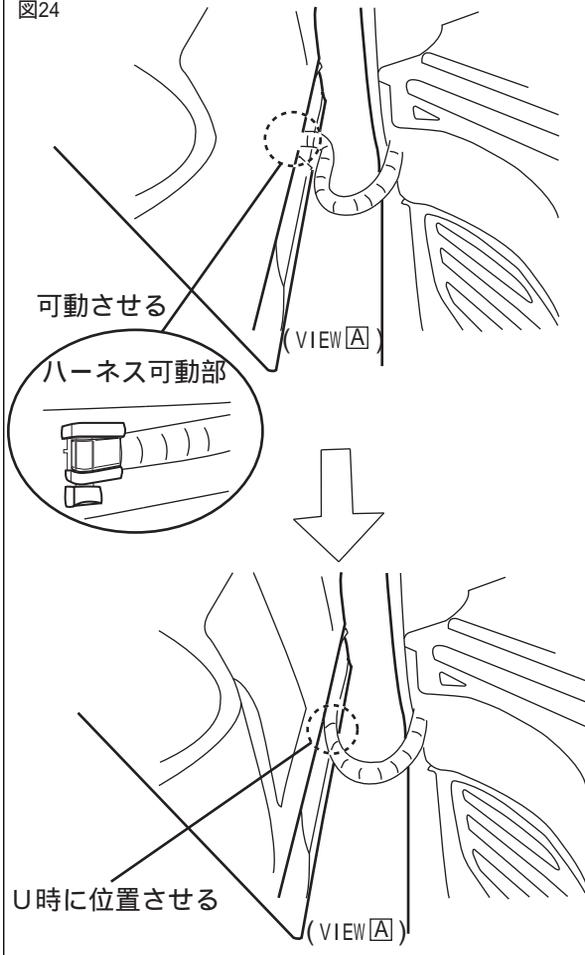
1. スライドドアを図22の位置付近（約50～60cm）まで開ける。

図23



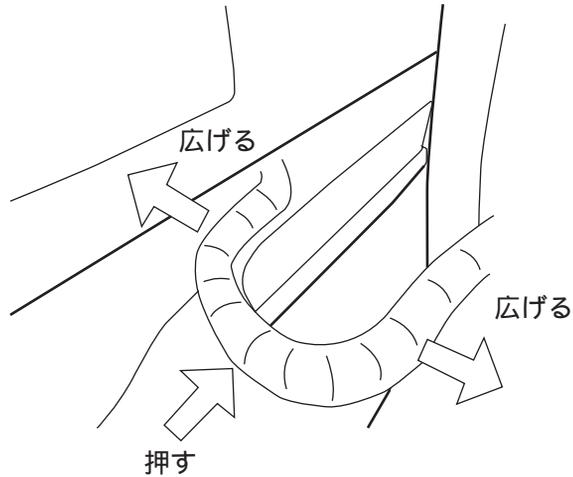
2. 図23のように、スライドドアハーネスの根元部分がドア側・ボディ側が同位置になる様に、スライドドアの位置を調整する。

図24



3. 図24のようにスライドドアハーネスの可動部を車両前方向の位置にする。

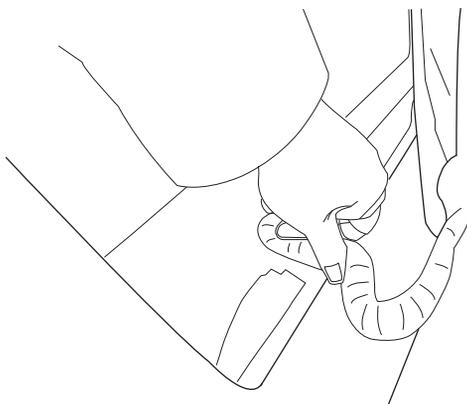
図25



4. 図25のようにハーネスの頂点を車両後方向に軽く抑えて、ハーネス経路のクセをとる。

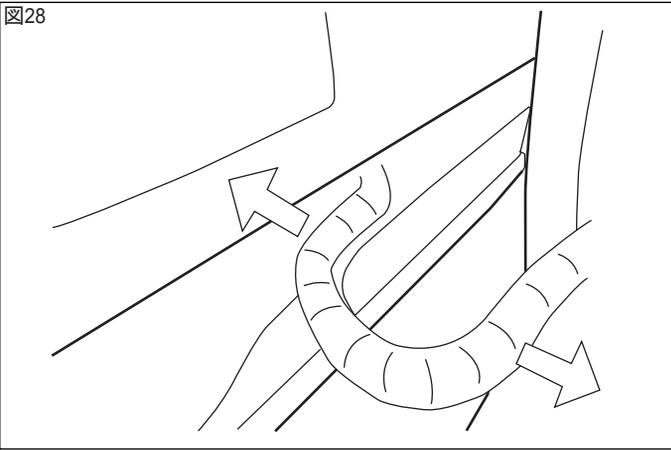
5. ハーネス経路に個体差があるため、角度やハーネスの位置を変えて行ってください。

図27



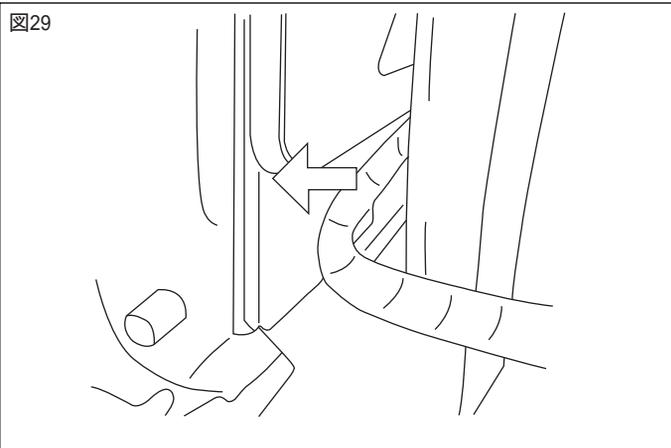
△注意：強くハーネスを押し曲げるとコイルゲートチューブが白化しますので注意してください。

図28



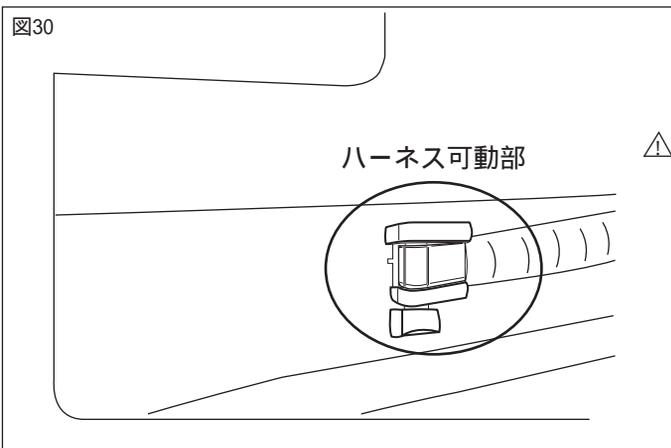
6. 図28のように、ハーネスのクセをとり、広がっていることを確認してドアの開閉をする。

図29



7. スライドドアを全開した際にハーネスがスライドドアに沿うように前作業で貼り付けたプロテクションフィルムの部位とハーネスが接触していないように調整をする。

図30



△注意：ハーネス可動部の動きが渋く(悪く)なるとハーネスとボディの距離が短くなる傾向にあります。定期的な清掃・エアブローをお勧めします。

取付完了後の点検・注意事項

1. サイドスカートが車両ビス・タッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. サイドスカート及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。